

「第6次知立市総合計画」第5回総合計画審議会議事録

平成26年11月13日（木）

15:00～17:00

中央公民館 大会議室

【次第】

1. パブリックコメントに寄せられた意見と市の対応について
2. 答申

【出席者】（敬称略・順不同）

《委員》鈴木誠、鈴木恭子、保田了一、土田美紀子、野村賢孝、關勝、新美文二、若松勲、毛受直子、本田由美子、小橋和昭、柿原健、宇納一公、石原國彦
《市役所》市長、副市長、企画部長、企画政策課長 他
《コンサルタント》一般社団法人 地域問題研究所 2名

【議事概要】

司会進行：企画部長

- 全員出席
- 原則公開、議事録公開の報告
- 今日配布した資料は資料1 パブリックコメント 意見・対応一覧表、資料2 第6次知立市総合計画（案）

1. パブリックコメントに寄せられた意見と市の対応について

事務局より資料1について説明

会 長	・今、パブリックコメントの意見を受けて、その意見への対応と修正したものをご説明いただきましたが、その他の箇所も含めてご意見をください。
小橋和昭委員	・パブリックコメントについて、市の見解としては「今回の計画の内容というよりも、実行計画、実施における際のアドバイスが多かった」ということでした。しかし、読んでみると必要な意見が多いと感じました。各担当課に検討してもらおうということですが、そうではなく、きちんと意見を吸い上げて実行していただきたいと思います。 ・私はまちづくり委員会に参加していますが、一番のポイントは、計画を立てて実施する時に、いろいろな分野の人が関わることによって提案してもらえるのではないかと思います。
鈴木恭子委員	・防災分野への意見について「計画修正なし」や「ご意見を参考に

	<p>する」という記述があることに疑問を持って、今、会議に参加しています。いただいた意見はもっともな意見ですので、もう少し丁寧に回答していただきたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 例えば、P2第3編第1章第1節1『防災・危機管理』の意見についての回答は「防災会議等に反映し、計画を実施してまいります。」というような、実効性のある内容に向かっているという表現にしたいと思っています。 • 防災訓練は確かに意見の通りで、名古屋大学の防災コーディネーターの先生が言われるように、「どう命を守るか」「どう生き延びる」かの二点が大切です。しかし、知立市の防災計画をみると、「どう生き延びるか」に重点が置かれているように見受けられます。社会福祉協議会の立場としては、避難弱者の人たちの訓練が全く実施されていないことが苦になっています。ぜひ「防災会議や防災計画に反映していきます。」というように具体的に丁寧に対応を記述していただきたいと思います。
<p>会 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ご提案をいただきましたので、先ほどのご意見と合わせて、十分配慮して、回答への丁寧な対応と実施計画への記載をお願いしたいと思います。
<p>宇納一公委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> • パブリックコメントは数名から出された意見ということですが、先ほどの皆さんがおっしゃったように、良い意見が出ていると思います。 • 回答は「知立市は小さなまちだけれど、このような意見を、第6次総合計画だけではなく常に吸い上げて対応し、改善して行きます。機動力がありますよ。」ということ強く感じられる文面になるとよいと思います。そうしないと硬直した考え方で終わってしまいます。 • P3第4節1『循環型社会・エコライフ』で、「生物多様性の保全の方針を示してください。」とありますが、環境が破壊されているのは絶対であるので、市として必ずどこを守るのか、復活するのか、つくっていくのか、ということが具体的に表現されていると市民として実現可能性が見えてきます。総合計画の中でも具体性が必要ではないかと思います。 • 彫刻のあるまちづくりについて、関わっていたこともありますが自分としても違和感があります。こだわらない方がよいと思います。他市のまちづくりでも「彫刻の墓場」という表現や「邪魔になる美術作品」という言葉もあります。毎年彫刻を増やしていくよりも、取捨選択をして「合わないものは入れない」「交換する」などの方法をとっていくとよいと思います。

	<ul style="list-style-type: none"> ・刈谷市や安城市とのつながりが生まれるようなことを、知立市が中心となって提案できると、知立市の存在感が出てくるのではないかと考えています。
野村賢孝委員	<ul style="list-style-type: none"> ・この後、実施計画の策定があると思いますが、その際、市民委員は入れるのでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画は、3年間分の計画を行政で策定し、それを公表していく形となっています。事業計画については各課等で検討したものを、市長、企画部門が査定をし、計画を行政で作成したうえで公表という形をとらせていただいています。
野村賢孝委員	<ul style="list-style-type: none"> ・5年前は委員会を作って議論したと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画メニューコンペティションという事業を実施していました。
野村賢孝委員	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでいろいろな意見がたくさん出されましたが、これを各部署にきちんと伝えていただきたいと思います。 ・この文章だけを見て対応すると、意味合いがずれてしまいます。文章に乗っていない個別事業の提案などもたくさんあったと思いますので、各実施部署に伝えていただきたいと思います。 ・3年ごとに評価などを行う評価項目を見てみたいと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今日お配りしている資料の内容は、先日、部長以上が集まる策定委員会に資料を提出し、「課長以下職員で対応を検討しなさい。参考にしなさい」と言われています。 ・この中身については、企画政策課で一つにまとめたいと思っていますし、各部署でもこれを参考に進めていくということにしています。
野村賢孝委員	<ul style="list-style-type: none"> ・パブコメだけではなく、審議会で出た意見もその中に入れていただきたいと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・すべて議事録は共有しています。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に実施計画をする際に、審議の経過も共有して、活かしてほしいと思います。それが活かさない場合には、毎年のローリングの中で活かしてほしいと思います。 ・また、中間年度で振り返りをするという事だったと思います。その際に、今回の審議会の過程で出てきた意見、パブコメで出てきた意見が活かされたかどうかについても議論する必要があると思います。 ・事務局もしっかりと進行管理をお願いしたいと思います。
石原國彦委員	<ul style="list-style-type: none"> ・パブコメの意見の内容は、先ほどから皆さんがおっしゃっているように良い意見だと思っています。 ・第6次の総合計画を実施し、具現化するためには財源が必要です。

	<p>そのお金がなければここに書いてある良い内容も具現化できません。第2章第2節4『産業振興・雇用対策』に対する意見について「計画修正無し」という回答になっていますが、現時点ではそうかもしれませんが、具体化していく時には、財源の確保をどのような方法でしていくのかを考えていく必要があります。企業誘致も、国や県にお願いする必要もあるかもしれません。「参考にさせていただきます」はもちろんです、より具体的に今後計画していただきたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金がなければ計画は絵に描いた餅になりますので、そうならないように進めていただきたいと思います。
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・この通りに修正したら古い産業施策になってしまうこともありますが、一方で、財源をつくることも大切です。 ・民間の金融機関は預貸率が低くなって、いかに「生かすか」という道を探っている中で、民間の資金の循環をつくることも大切です。 ・具体的に検討するのは実施計画かもしれませんが、「参考にする」というよりも、この意見をどのように受け止め、一步を踏み出すかということを考えて、もう少し具体的な回答していただきたいと思います。表現の再検討をお願いいたします。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・大変申し訳ないのですが、時間的に担当課との十分な調整がとれませんでしたので、今後、担当課と調整しながら、会長や小橋委員などから指摘されたように、具体的に返答できるものはそうしていきたいと思うし、詳しく説明して回答していきたいと思います。市の考え方も示していきたいと思います。 ・策定委員会の方でも申し合わせしているので、対応の案を検討させていただきます。
柿 原 健 委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・内容は先ほどからみなさんがおっしゃっている通りだと思います。 ・パブリックコメントについて3名から38件の意見を頂いたということですが、人数の問題、件数の問題についてはどのように考えていますか。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな計画についてパブコメを実施しています。少なく聞こえるかもしれませんが、全く意見が出てない計画もあるという中で、3名の方が関心を持ってくださったという点ではほっとしたところです。
關 勝 委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・P2第3編第1章第1節1『防災・危機管理』で、自主防災については確かにこのとおりだと思いますが、これでは説明不足です。 ・連絡協議会が「防災意識に対する温度差や市民の防災力意識を醸成するためにできた」ということについて、説明しないといけま

	<p>せん。施策内容が形式的だというなら、連絡協議会がどのような形で運営しているかを書いてあげないと納得できないと思います</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このパブリックコメントの意見はその通りだと思います。実施するときにはまだまだいろいろな手段があると思いますので、話をしていきたいと思います。
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・回答の仕方と合わせて、実施計画の策定の段階でも工夫していただきたいと思います。 ・この後答申した後で、全委員の皆様から、今後の実施の仕方などについて意見を頂きたいと思います。 ・パブリックコメントの内容については、大方筋が通っているということですが、市の回答の仕方はこれではいけないという意見でした。市もそれについては了解していますので、承認を得たということで指針をまとめたいと思います。
宇納一公委員	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントでいろいろな意見をいただきました。本来は、これをもう一度委員が持ち帰って見直すということがあるとよいと思います。第5回で終わるのではなく、もう一度会議を開いて、最後にまとめるというのが筋だったのではないかと思います。もう少し前にパブリックコメントを実施していれば違う対応の仕方があったと思います。 ・また、若者や就労者の方にもっと参画してもらうことができなかつたのかと思います。いろいろな意見を出しましたが、もう一回会議を開いて、意見を抽出すべきだったと思います。
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり委員会は別として、計画の進捗・実行の中で、市民の中で若手の人たちが市民参加できる機会や、サラリーマンや女性、子育て世帯の人たちが、直接関係する事業について意見を述べたりすることは、市の施策の中であるのでしょうか。
副 市 長	<ul style="list-style-type: none"> ・第5次総合計画もそうでしたが、野村委員がおっしゃっていたように、事業を検討したり、評価したりということを休日・夜間などに実施するなど、各年代層の方にできるだけ参加してもらえるようにいろいろな手法を考え、配慮しながら進めていきたいと思っています。 ・基本的に総合計画は市民協働で進めていきます。いろいろな意見を市民の方に聞いたり、投げかけたりしながら進めていく必要があると思っています。 ・現在、具体的な取組は考えていませんが、総合計画担当課である企画政策課だけではなく、各課に投げかけていきたいと思っています。
新見文二委員	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画だから、いろいろなジャンルの、いろいろなことを議論してきました。

	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画は分野ごとに、私なら、産業支援、雇用政策、知立駅周辺整備など、専門分野の議論をしていくと、中身が濃いものになると思います。子育てなら、子育て関係者などです。結局当たり障りのない意見、踏み込めないところもあったと思うので、実施計画ではそのようなことが必要になってくると思います。 ・パブコメ意見に「商工会の既得権益」という記述もありますが、私たちも市民参加に取り組んでいくことが必要だと思いますし、見られる目を気にしていく事が必要だと思います。行政でも、一步踏み込んだ、「やるぞ!」ということが必要です。パブコメへの対応は控えた感じで、どちらでもとれるような、一步下がった感じをうけます。一步進んだ、踏み込んだ計画を作ってほしいと思います。
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会の開催方法はこれ以上でもこれ以下でもないと思いますが、市民が自分の問題として、行政と協働して実施していこうという意識を持つためには、作られたものを見せるというよりも、地域別、分野別などを一緒に作っていく事が必要です。 ・第6次総合計画の基本計画の実施に向けて、後期の基本計画の見直し時でも良いので、若い人や利害を持つ人に構想計画の段階で入ってもらい、質の高い市民参加の方法を検討していただきたいと思います。
副 市 長	<ul style="list-style-type: none"> ・今度実際に進めていくためには必要だと思っています。審議会を継続していただくかどうかわかりませんが、いろいろな場を通じて、監視をしていただきたいと思っています。 ・会長がおっしゃったように、10年計画の途中での見直しの際には、事業の見直し、最初の段階から意見をもらうことを心掛けていきたいと思っています。
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・「突っ込んだ、関係者の意見交換をする」ということをご理解いただきたいです。今後、計画の実施に反映されるように、議事録にとどめておいていただきます。
小橋和昭委員	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほどから意見が出ている「テーマごとの集まり」についてですが、例えば駅の再開発の問題も、再開発のこと、都市計画のこと、コミュニティのことなど、全部まとめないと魅力ある駅づくりにはならないと思います。ぜひテーマごと、分野ごとの集まりが必要だと思うので、実現に向けてお願いしたいと思います。
柿原健委員	<ul style="list-style-type: none"> ・前回まで、各グループでのグループ討議で、委員の方から良い意見が出て、市から「その後意見は実施計画に反映します」というような返答もあったと思いますが、これはどのように扱われるのでしょうか。パブリックコメントと同じレベルで扱われるのでし

	<p>ようか。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今日、皆様方の意見で、若い方やサラリーマン、いろいろな方の意見を反映するべきだという意見をいただいたので、副市長が申しあげたように、今後、各部署において計画を作る際にいろいろな方法を使って、会議への参加を募っていくことが大切だと思いますので、実施したいと思います。 ・パブリックコメントを実施するものとしなないものもありますが、それは市の判断に任せさせていただきたいと思います。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・計画を説明して意見を聞くのではなく、プランを作る際に、意見を踏まえて作っていただきたいということです。
副市長	<ul style="list-style-type: none"> ・十分ではありませんが、いろいろなところで審議会や協議会で集まっています。各団体の代表者の方に集まっています。いろいろ実施していても同じ方が参加されることも多いです。 ・それも大事なので否定しませんが、それ以外にももっと多くの人に興味を持ってもらいたいと考え、選挙人名簿から無作為で抽出した方に、「協議会や審議会に参加してください」というお願いをしたりしています。その他、夜や休日に開催したり、ネットなどを活用することなども組み合わせながら、幅広い方の意見がいただけるように、工夫して取り組んでいきたいと思っています。
会長	<p>答申</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第6次知立市総合計画について答申します。 ・平成26年7月1日付 第139号で諮問がありました、第6次知立市総合計画の策定について、これまで5回にわたる会議を重ね、慎重に審議を行った結果、別に納めている案について適当であるという承認をいただきましたのでここに答申をいたします。 ・市長におかれましては、この答申及び審議の過程で、各委員から非常に積極的に多くのご提案、ご意見、ご要望が出されましたので、その内容を十分に踏まえていただいて、第6次の総合計画を決定され、将来像である「輝くまちみんなの知立～安らぎ、にぎわう 住みよさを誇れるまち」の実現に努められるよう要望いたします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・最後の審議会になりますので、委員の皆様から、審議会を通してのご意見を聞かせていただきたいと思います。
若松勲委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今回初めてこのような場に参加させていただいて、皆さんの意見を聞かせていただいて、私自身が勉強させていただきました。大した意見も言えませんでしたでしたが勉強になりました。
關勝委員	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて参加させていただきましたが、知立という国に例えると、

	<p>私は7万人の中で一方だけを見てきたということを感じました。総合計画をつくるのは行政として大変だなあと感じました。知立をより良いまちにするためには、多くの事を実施していかなければならないということも実感しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我々としては計画が8割だと思います。実施に多くの市民の声を聞いて、この実施内容で良いのか確認しながら進めていただきたいと思います。 ・私自身とても勉強になりました。ありがとうございました。
野村賢孝委員	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて参加しました。行政で行う物事がどのように実現されているのかというプロセスがよくわかり参考になりました。 ・総合計画がきちんとあれば、議員は6、7名で十分で、もっと行政を信じて動いていけばよいという印象をもちました。市民も安心できると思います。 ・ただ、自然災害が増えています。個人の利害があるので難しいですが、危ないところは危ないということ伝えることは大切だと思います。安全と思われる知立市でどのような災害、被害があるか分かりません。愛知県から出されている想定は、具体的にどのようなところで、どのような形で起きやすいかということ、市民に伝えることも大事だと思います。いずれにせよ、消防車が入れないようなところは問題です。これはどこかで反映して欲しいと思います。 ・これからもっと具体的な話に入っていくと思いますので、今後に期待したいと思います。総合計画については非常に良くできていると思います。
土田美紀子委員	<ul style="list-style-type: none"> ・初めてで何をどのように考えて良いのかわかりませんでした。 ・具体的になりすぎると実際に事業を検討したり、施策を検討する際に幅がなくなるので、総合計画はふわっとした感じで創るので、自分の得意な分野はよいのですが、不得意な分野は非常に難しかったです。 ・パブリックコメントで具体的な事業の意見が出たのもそういうことだと思います。「審議会にはごく一部の人しかいない」「既得権益や利害」についての意見も出ていましたが、パブリックコメントも一人ずつの意見で、ひとりひとり違います。それをどのように上手に拾うかは大変だと思いました。一人一人違うので、どこをどう拾うかは大切です。 ・PDCAのサイクルでよく数値が出てきます。数値は非常に納得させられますが、使い方によって独り歩きして、全く違う判断材料になります。どのような問いかけや選択肢だったらよいのかよ

	<p>く考えていただいて、数字マジックに踊らされないように進めていただきたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちが見たのは34の基本施策で、これから140の個別事業が出てくると思います。パブリックコメントで「具体的なところが分からない」という意見もありましたが、これから具体的なものが出てくると思うので、そのときにも意見を聞いてもらいたいと思います。 ・いろいろな施策の流れが少しわかったような気がします。
保田了一委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私は福祉関係の会議は多かったのですが、総合計画への参加は初めてでした。総合計画ができましたので、しっかり実践にうつされることを願っています。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・会長を務めさせていただきました。引き受けた一番の理由は、知立市から私の大学に来てくれている学生から、「自分たちのまちがどのように魅力アップしていくのか情報が届いていない。」「その情報を待っている。」という声を聞いていたからです。知立市に期待や希望を持っているのですが、周辺市町も魅力づくり、若者定住を掲げて取り組みをしている中で情報が届いていないのです。特に外国にルーツのある子どもや、団地に住んでいる学生は強く望んでいます。機会があればと思っていたところ、その声掛けがあったのでお引き受けしました。 ・実施計画を進めるにあたって、声を聞きながら作ることに合わせて、正規・非正規関わらず市役所にいるたくさんの職員の方に、地域の計画実施に自分の得意な分野で職域を超えて関わり、過ごしていただきたいと思いますし、そういう人材育成を進めていただきたいと思います。実施計画でまた関わりたいと思います。
鈴木恭子委員	<ul style="list-style-type: none"> ・会長がおっしゃったことにあわせて、日ごろから感じていることがあります。 ・せっかく皆さんのお力添えで総合計画をつくれたわけですが、あくまで分野ごとに分けてあります。子ども・子育て支援事業計画の会議で障がい児の話が出ると、それは障がい福祉計画の内容だと言われます。管轄は分かれています、障がいがあるとなかろうと、子どもは子どもです。高齢者も介護が必要だろうが不必要だろうが関係ありません。課が違っても、同じように連絡を取り合ってチームを広くして、担当課を広くして発展していく事を願っています。
毛受直子委員	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画は何度も読み返しました。一回では理解できず何度か読み返す中で非常に良くできたものだと感じました。

	<ul style="list-style-type: none"> ・しかし、もう少しやさしい言葉であったり、具体例があった方が理解しやすいと思います。パブリックコメントの中でも、具体的という言葉がたくさん出てきました。具体的に書かれた方が解かりやすいと思います。 ・主人に読んでもらったら、「ちょっと難しいのではないか。でも非常によくできた計画だ。」と言っていました。 ・いろいろな問題に対して、いろいろな原因があって問題が起きていることが分かりました。
本田由美子委員	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて参加しました。 ・どこまで役に立てるかと思っていましたが、皆さんが知立市を愛していることが分かったし、自分自身が勉強になりました。 ・計画はできましたが、実施していく方が大事です。市民に実施をどのようにアピールするか、どのように市民を巻き込んでいくかが大切です。 ・分野別の集まりは実施してほしいと思います。特に多文化共生は市民にも誤解されていることが多いし、もどかしい思いをしています。そのようなテーマ別の委員会があれば参加したいと思います。
小橋和昭委員	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて参加しました。 ・総合計画は、言葉遣いや表現が特殊で理解しにくいと思います。 ・計画の内容には行間があります。今日ここにいる皆さんが発言された議事録が行間としてあって、それを集約したものがこの計画だと思います。5回で議論してきた発言内容、思いが、総合計画の中にあります。今までの議論も大事にして、具体的な実施の中でいかしてもらいたいと思います。
柿原健委員	<ul style="list-style-type: none"> ・知立市を見ていると、世代交代しており、若い人たちがよその市からきて、従来からいる人がだんだん少なくなっていると思います。 ・総合計画など、行政運営については、アンケート結果や統計資料、多くの広い市民の意見を行政に取り入れて、魅力ある知立づくりに取り組んでいただきたいと思います。
宇納一公委員	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目の審議会でも相当噛みついた発言をしましたが、2回目、3回目と回を重ねるごとに、知立市に住んでいる人は知立市を愛していることを感じました。しかし、知立の方と話をしていると「閉鎖的だから嫌い。」という声をよく聞きます。それは排他的であり、良くないことだと思います。 ・皆さんと同じで考えで、新しいアイデアを出してもらえるのは若者で、若者の力を取り入れられる行政であってほしいと思います。

	<p>し、知立市内に住んでいない若者、馬鹿者の意見ももっと取り入れてもらえる知立市になると、これまでにない創造的なものが発信できると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の力を活用しながら、色々な意味で常に外を見ながら、比較しながら、夢を追う若者の意見を取り入れていただけるような、第6次総合計画の中で柔軟に対応していただきたいと思います。
石原國彦委員	<ul style="list-style-type: none"> ・個人的に感じるのは、計画案の内容は良くできていると感じています。要は、計画がしっかりできていれば、それを具現化すればよいと思います。 ・「輝くまちみんなの知立」という基本理を目指して、これから10年、指針になる計画だと思います。具現化していくためには、いろいろな行政の部署、知立の中の団体、人・もの・金の資源を有効に活用していただく工夫をしていただければ、10年後にはこの計画の100%がベストですが、多くのことが実行できて、近隣の市町に勝る、知立らしい街になっていると期待したいと思います。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・7月から5回にわたって、多用な中、知立市総合計画の審議をしていただき、答申していただきありがとうございました。 ・それぞれご活躍されている立場から、高いご見識、経験からご意見をいただき非常に充実した計画をいただいたと思っています。 ・計画を頂いた我々職員は、この実現に向けて、一丸となって取り組んでいきます。委員の皆様においても、第6次総合計画のめざしていくところは「輝くまちみんなの知立」です。さらに実現に向けて一緒をお願いしたいと思います。 ・ありがとうございました。

以上